

2009年1月9日

国内メディアコンタクト:

斉藤 久美子
アルティウムジャパン株式会社
東京都品川区西五反田 1-23-9
りそな五反田ビル7階
電話: 03-5436-2501
Email: kumiko.saito@altium.com

Altium Limited 広報代理:

中田清光
ホフマン ジャパン株式会社
東京都中央区京橋2-7-14
ビュレックス京橋515
電話: 03-5159-2145
Email: knakata@hoffman.com

アルティウム、Cadstar 用インポートウィザードの提供を開始 アルティウムのエレクトロニクス製品設計ソリューションへの移行を可能に

アルティウムリミテッド (Altium Limited、本社: 豪州 シドニー、以下 アルティウム) は、エレクトロニクス製品設計環境 Altium Designer の最新版 Winter 09 において、Cadstar 用設計ファイルの読み込みを行うファイルインポータが利用できるようになったことを発表しました。

Cadstar ファイルインポータは、Altium Designer の設計変換ウィザードから利用します。設計変換ウィザードでは、P-CAD や Protel の設計ファイルはもちろん、Allegro、OrCAD、DXDesigner、PADS による設計ファイルも読み込むことができます。

今回 Cadstar ファイルインポータが追加されたことにより、従来型のポイントツールからアルティウムの次世代ソリューションへ移行することができるようになりました。Altium Designer では、ハードウェアからソフトウェア、プログラマブルハードウェアまで、単一の統一環境下で設計を行うことができます。開発環境を Cadstar から Altium Designer へ移行すると、大規模なプログラマブルデバイスの可能性を活用するとともに、3次元のボード設計やクリアランスチェック、MCAD 設計に対するダイナミックなリアルタイムリンクの構築などアルティウムが誇るボード設計機能によってカスタムデザインのプリント基板を構築することができます。

エレクトロニクス製品の設計においては、次世代型設計環境に対する投資の必要性和、過去の設計資産を活用する必要性和を上手にバランスさせることが求められます。今回追加した Cadstar 用の移行ツールにより、Cadstar ユーザーは、このバランスを実際に確かめ

ることができます。プリント基板の設計スキルを、ソフト領域における設計などの新領域にまで拡大できることを実感することができるようになりました。また、回路図のキャプチャから **FPGA** プログラミング、リアルタイムのデバイス試験、オンザフライによる設計の詰め、そして最終的なプリント基板の設計とそのリリース、製造までを単一の設計環境下で行うことが可能になりました。

Altium Limited (アルティウムリミテッド) について

Altium Limited (ASX:ALU) は、次世代エレクトロニクス製品設計環境を提供します。**Altium** のユニークな統一設計環境は、エレクトロニクス設計の個々のプロセスを単一のエレクトロニクス設計環境内に統一しています。この統一された設計環境により、エレクトロニクス設計者は最新のデバイスと技術を容易に取り入れ、幅広い設計を通じてプロジェクトを管理し、インテリジェントな設計を容易に実現できます。

アルティウムは、**1985** 年に設立され、本社をシドニーに構え、セールス&サポートオフィスとして、オーストラリア、米国、日本、中国およびヨーロッパに直販拠点を設けるとともに、その他の主要市場では代理店販売を行っています。詳細については、www.altium.co.jp をご覧ください。